えんちょう先生の わくわくだより

令和３年5･24　NO 4

年長さん、先生に読んでもらったエルマーの冒険から、怪獣や動物作りが始まった！

くるくる寿司だよ

まん丸だよ

私達　お人形ごっこにはまりそう

いらっしゃい
いらっしゃい
お寿司はいかが？

マグロどう？

１歳児、順番を知った車遊び！

砂場で砂を掘ったり、お椀を伏せて砂のケーキを作って貰っていたこども達。そこへ足漕ぎの車を見つけたＲちゃんとＧ君が坂になった部屋の入口から車で滑り降りる事を思いつき、すごいスピードで降りて来て得意そうな笑みを浮かべている。それを見たＨ君やＭちゃん、すぐに遊びの手を止めて車の周りに集まり「のりたい！」とばかりにハンドルを握り始めた。Ｒちゃんや Ｇ君はまだやりたくて譲れず、２回までは見守った。３回目、保育士が「１回変わろうか？」なんて声を掛けても、抱き上げようとしてもハンドルにしがみついて離れない二人。そこで大きな○を書き、「ここは駅だよＲちゃん、ここに入って下さい」と声を掛けるとＲちゃん、すんなり降りて丸の中に。その間にＭちゃんは車に乗って坂の上に・・ところがＧ君はどうにもこうにも・・そこで先生が抱き上げて、「ここでまっていようね～」とちょっと嫌がるＧ君だったが先生に抱っこされて丸に入る。だからそばで待っていたＨ君は車に乗って・・・そんな事を何度も何度も繰り返す。最初は、丸の中で怒りながら先生に抱かれていた子も回を重ねる度に、体の力が抜けて待つ事が出来る様になっていく。まだ、言葉で物事全体の理解が出来ない１才児に言葉でいくら言い聞かせようとしても無理。それより、目の前の○に何？と気持ちが動きこどもは入ってみる。そして、そこに入っていたら又車に乗れた。○に入っていると、車に乗れる・・を覚えていく。こどもが順番を覚えるって、こんな所からなんですね。いつもいつも上手く行く時ばかりではないけれど、見て真似をして、トラブルにも成長があり、１才児も日々学習を重ねながら育っています。

「きゅうりは手がないから支柱がいるね」と先生に図鑑で・・・

イチゴ狩り楽しかった！

私達　ねずこよ

ちょっとかわってあげようか。

・・・

さあ遊ぶぞ！

どうぞ

芽が出て来たね

さあ、くるまがきたよよかったね

わらべ歌遊び
「ことしのぼたん」

今年のぼたんはよいぼたん♪
お耳をからげてすとんとん♪
もひとつからげてすとんとん♪
鬼「入れて」
みんな「いやだよ」
鬼「そんなことを言うと家の前を通ったら
　棒でたたくよ」
みんな「それなら入れてあげよ」
（鬼も一緒に手を繋いで歌いながら回る）♪
鬼「もう帰る」
みんな「どうして？」
鬼「お昼のご飯だから」
みんな「おかずはな～に？」
鬼「ヘビとカエル」
みんな「ヒヤ～いやだね」
鬼・・家に帰り始める
みんな　「誰かさんの後ろに蛇がいる」と
　手を叩きながら鬼の後ろについて歩く。
鬼振り返って「わたし？」
みんな「ちがう」
・・を３回繰り返し３回目に
みんな「そう」と口を揃えて言うや否や
追いかける鬼、捕まらまいとにげるみんな
捕まったら鬼の仲間が増えていきます。

ちがう！

わたし？

むっくり熊さん
むっくり熊さん
穴の中～♪
ねむっているよぐーぐー
寝言を言ってムニャムニャ
目を覚ましたら
食べられちゃうよ～♪
ガオー
目を覚ました熊に追いかけられてワイワイキャーキャー